

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会事務局
〒545 大阪市阿倍野区旭町1-4-54
大阪市立大学医学部環境衛生学教室内
TEL 06-645-2056
発行責任者 堀 口 俊 一

第31回 近畿産業衛生学会開催のお知らせ

主催 日本産業衛生学会近畿地方会

学 会 長 塚本利之（兵庫医科大学公衆衛生学教室）
日 時 平成3（1991）年11月9日（土）10～17時
会 場 兵庫医科大学 講義室
西宮市武庫川町1-1 ☎0798-45-6111（代）
評議委員会 12:00～13:00 兵庫医大 講義室
懇 親 会 17:15～18:30 兵庫医大

演題募集要領

1. 演題内容

この度の近畿産業衛生学会は、大学だけでなく、社会で実際に産業保健活動をされている方々にも役立つような内容を含む広い範囲で、演題を受けつけたいと考えております。職場での問題点を提起する演題についても応募下さいますようお願いします。

2. 演題申し込みの方法

- (1) 1991年9月7日（土）までに、同封の用紙に演題名、発表者名、所属、連絡先を明記して、下記の学会事務局宛申し込んで下さい。

- (2) 申し込み到着後、学会事務局から「専用原稿用紙」を送付いたします。
(3) 抄録原稿の提出締め切りは、1991年9月28日（土）までとします。期限を厳守して下さい。
(4) スライドは原則として使用いたしません。

3. 演題申し込み先および問い合わせ

〒663 西宮市武庫川町1-1
兵庫医科大学公衆衛生学教室内
第31回近畿産業衛生学会事務局
☎0798-45-6566（公衆衛生学教室直通）

〈研究会のお知らせ〉

平成3年度 産業看護研究会（第1回）

日 時：平成3年8月29日（木）13:00～15:00

場 所：大阪府教育会館 たかつガーデン

〒543 大阪市天王寺区東高津町7-11

☎06-768-3911

テーマ：効果的な健康づくりをめざして

— 私達の行動変容から —

宗像 恒次（筑波大）

連絡先：上田 美代子

（近畿健康管理センター産業保健栄養指導室）

〒532 大阪市淀川区西中島5-13-9

新大阪森ビル3F（お問い合わせは文書で）

〈産衛学会からのお知らせ〉

第13回アジア労働衛生会議（ACDH）及び 第3回東南アジア人間工学会議（CS・EAES）

日 時：平成3年11月25～27日

（11月28～29日 サテライトシンポジウム）

場 所：セントラルプラザホテル、バンコック、タイ国

演題募集締切：平成3年7月15日（月）

問合せ先：北海道大学医学部衛生学教室 斎藤和雄

☎011-716-1161 内 5906

Fax 011-714-1140

第3回日本石綿シンポジウム

日 時：平成3年11月16日（土）10:00～17:00

場 所：大阪薬業年金会館

連絡先：森永謙二（☎06-972-1181 内線2379）

〒537 大阪市東成区中道1-3-3

大阪府立成人病センター調査部調査課

〈関連学会等のご案内〉

第18回 日本毒科学会学術年会

日 時：平成3（1991）年7月24日（水）・25日（木）

場 所：大阪国際交流センター

連絡先：大阪市立大学医学部環境衛生学教室内

特別講演「健康科学と公衆衛生」を聞いて

(財)近畿健康管理センター 産業保健栄養指導室 上田 美代子

第39回近畿地方会総会（平成3年6月6日(木) 府立公衆衛生研究所講堂に於いて）の特別講演に小町喜男先生の「健康科学と公衆衛生」という貴重なご講演をうかがうことが出来ました。小町先生は昭和55年から平成2年11月末まで筑波大学において疫学研究、研鑽を重ねて、後継者を育ててこられました。先生の業績は言うまでもありません。今日はそれらの重厚な資料をスライドにて御解説いただき、最後まで真剣に拝聴することが出来、有益な2時間でした。

先生はまず、従来のわが国の循環器疾患の特徴とその背景を疫学的見地から述べられました。それによりますと、1) 脳出血、脳梗塞ともに最大の発生要因は高血圧であることを疫学的に実証。2) 従来から言われていた高脂血症と脳卒中の関連を否定—血清総コレステロール値が低い集団ほど脳出血の発生率が高い。脳出血の発生には低コレステロール血症とそれに関する要因が促進的に働く。このことは赤血球膜を用いて血清総コレステロール値と細胞膜の浸透圧抵抗を測定した基礎的実験の結果からも証明された。脳梗塞全体については血清総コレステロール値とは関連が認められなかった。3) 脳卒中の多発の背景には従来の生活環境が関与—食生活：動物性脂肪摂取量及び動物性蛋白質摂取量が少ない、食塩摂取量が多い。労働：肉体労働の過重、肥満しえない生活。4) 脳出血と低コレステロール血症との関連については、最近、米国の成績(MRFIT)でも証明された。また、なんと低コレステロール血症との関連も指摘されてきた。

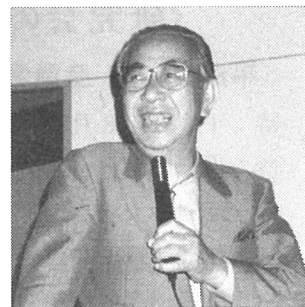
次に、生活環境の変化にともない、わが国の循環器疾患に量的・質的な変化が起こってきたことが示されました。1) 特に農村において血圧値の下降、血清総コレステロール値の上昇が認められ、脳卒中発生率は特に脳出血を中心として大きく減少した。2) 現在、大きな社会問題となっている高齢者のねたきりや痴呆の原因として重要な脳梗塞については、CTスキャン等を用いて脳梗塞の中の病型分類を行い、病型別に予防対策を講ずる必要がある。①痴呆との関連が強いのは穿通枝系脳梗塞である。この病変部位は、従来「脳出血街道」といわれた穿通枝の細い血管に起こってくる。発生以前には高血圧を高率に認め、また血清の総コレステロール値は低い傾向にある点が脳出血の場合と共通している。②ねたきりになる大発作を起こすことが多い皮質枝系脳梗塞は血栓型と塞栓型に分けられる。血栓型には高血圧、高コレステロール血症が関与する。また、血液の凝固線溶系(血

漿フィブリノーゲンなど)の関与についても現在、研究中である。塞栓型には高血圧と心房細動の関与が大きい。心房細動自体も高血圧の影響により発生するタイプのもが多い。3) 従来より血清総コレステロールレベルの高い大都市の事務系企業では、虚血性心疾患の発生率の増加傾向がみられる。また、現業系企業でも血清総コレステロールレベルが上昇しつつあり、それに伴い虚血性心疾患の発生率も増加してきた。大都市における虚血性心疾患のリスクファクターを検討した結果、年齢、血圧値、喫煙量、血清総コレステロール値が有意の正の危険因子となった。4) 大都市の事務系企業の一部では最小血圧値の上昇傾向が認められた。この原因の一つには肥満の問題がある。肥満の解消には身体活動を増やすことが大切であるが、運動を奨励する前に、まず身体活動状況の実態を把握することが大切である。全国の異なる地域・職域集団の身体活動状況を調査した結果、全国的にみて大阪の事務系勤務者の身体活動量は少ないことがわかった。しかし、大阪の現業系勤務者の身体活動量は決して少なくはなかった。これより、労働形態や生活背景の実態をよくふまえた上での生活指導がいかに重要であるかがわかる。

そして、先生は以上のような調査研究を行い、その結果に基づき、2次予防対策を実践してきた地域では脳卒中の発生も減り、ねたきりの数も減り、医療費の伸びも抑制されたことを示されました。また、今後は職域においても2次予防に加え健康教育キャンペーン等の1次予防対策も重要であることを指摘されました。

産業保健活動において、労働形態や生活環境・背景を把握した上で、健康問題との関連を科学的に明らかにしていく、そしてその結果を1次予防、2次予防対策へつなげていくことがいかに大切かを知ることができました。そして、その基盤となるのが健康科学であると小町先生は締め括られました。

おこがましいですが、労働者一人を例に考えてみた時、労働時代の健康生活が習慣化されていますと、労働時代を過ぎ、地域社会に入ってからでも健康で過ごすことが出来るのではないのでしょうか。私達の産業保健活動の責任の重さを感じると共に、健康のキャンペーン活動は子供の時代から行う必要があるなど、保健婦活動はやはりライフサイクルでフォローを科学的に行うことが大切であると再度、奮起しました。



小町先生

「近畿地方会の歴史」配布 および販売について

昨年度印刷しました「近畿地方会の歴史」を送らせていただきます。第64回日本産業衛生学会・第50回日本産業医協議会および第39回近畿地方会総会にご出席の会員の先生方には、既にお配りいたしました。なお、2冊以上ご入用の先生、準会員の先生方には1部500円でお分け致しますので、ご希望の方は1冊につき切手500円分を同封の上事務局までお申し込み下さい。

事務局からのお願い

1. 地方会費納入のお願い
1) 地方会会費は2,000円です。
郵便局から払い込んで下さい。
口座番号は大阪0-305488,
加入者名：日本産業衛生学会
近畿地方会。
2) 払い込み人と会員名が異なる
ときは、必ず通信欄(裏)に
会員名をご記入下さい。ご記
入のない場合は、送金されま
しても会員名不記載のため送

- 金された人の会費とはなりませんのでご注意ください。
3) 経費節約のため、領収は郵便
局の領収印にてご確認いた
だき、事務局からの送付は省略
させていただきます。
4) 学会当日地方会費を受け付け
ております(地方会からの領
収書を発行しますのでご利用
ください)。
2. 事務局へご提案、ご意見、お問
い合わせ、連絡等は必ず文書で
お願いします。